

2013年3月期 第1四半期連結業績概要

TDK株式会社
執行役員/経理部長
桃塚 高和

2013年3月期 第1四半期連結業績概要



(億円)		2012年3月期 第1四半期	2013年3月期 第1四半期	対前年同期比	
				増減	増減率(%)
売上高		2,062	2,087	25	1.2
営業利益		60	92	32	53.8
営業利益率		2.9%	4.4%	1.5pt	-
継続事業税引前利益		37	88	52	139.4
当期純利益		24	45	20	84.5
1株当たり利益(円)		18円78銭	35円52銭	-	-
為替	対ドルレート	81円74銭	80円27銭	1.8%の円高	
	対ユーロレート	117円62銭	103円18銭	12.3%の円高	
為替変動による 影響金額		売上高：約52億円の減収 営業利益：約8億円の減益			

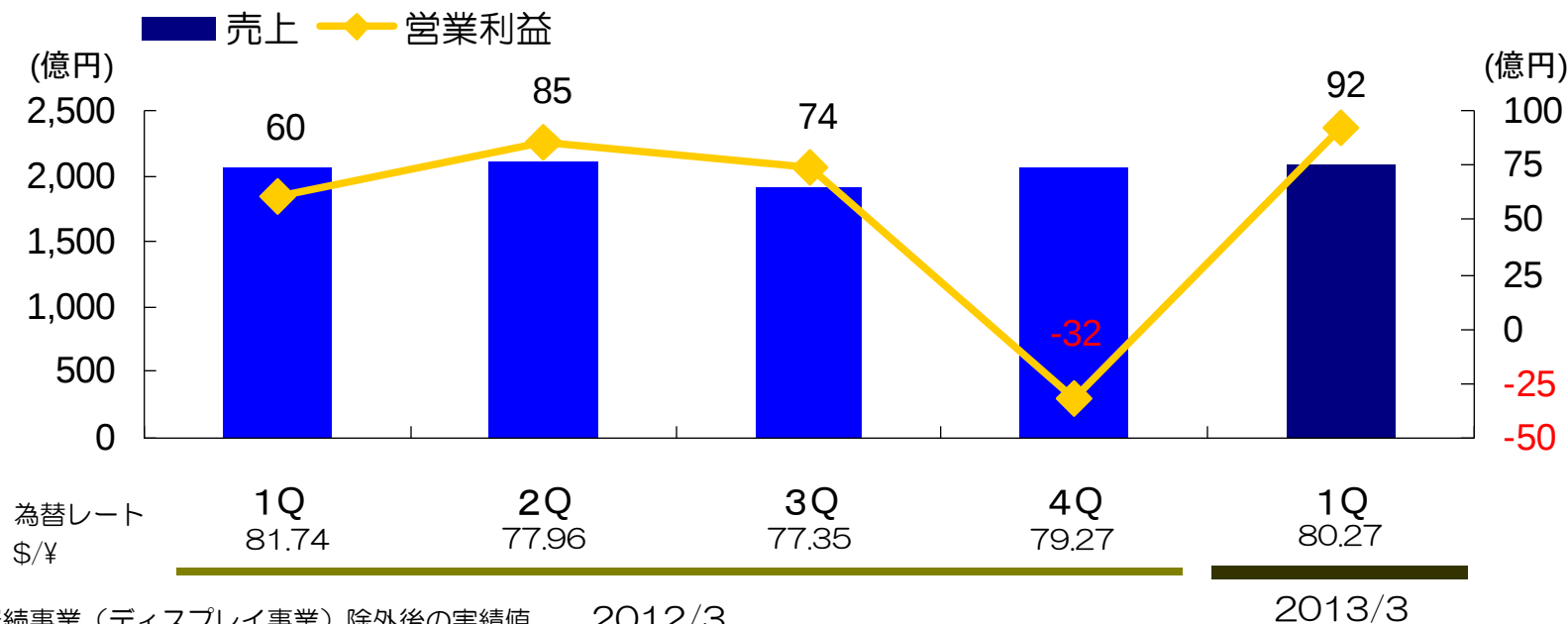
※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

◆連結売上高は前年同期比1.2%、営業利益は53.8%増

- ・情報家電、通信市場は想定を下回って推移
- ・自動車市場は想定どおり堅調に推移
- ・四半期ベースでは増益基調へ

◆収益力改善にむけた構造改革は計画どおり進捗

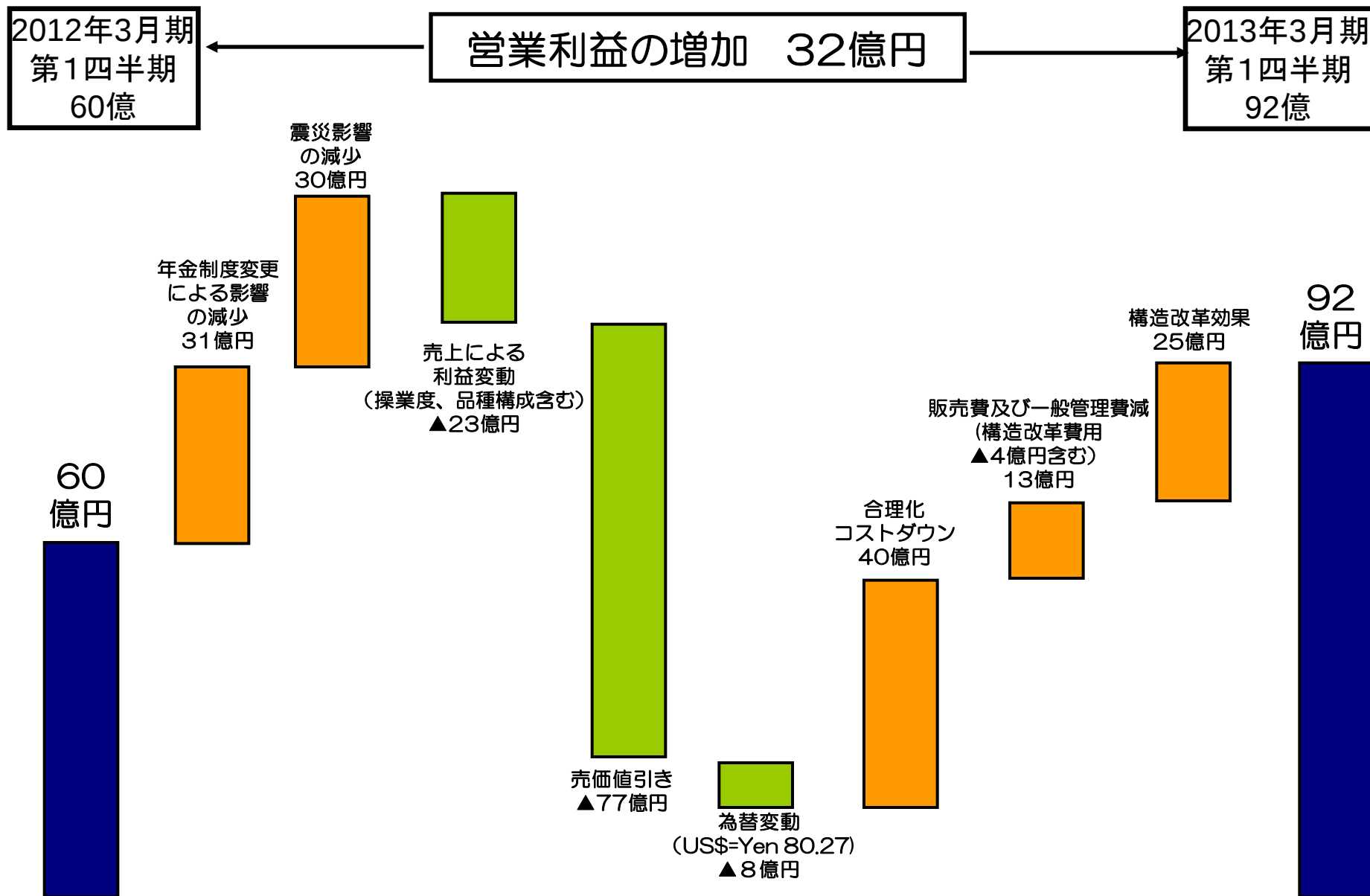
●売上高及び営業利益の四半期別推移



※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値 2012/3

2013/3

営業利益増減分析



セグメント情報 四半期比較 (前1Q vs. 1Q、前4Q vs. 1Q)



(億円)		2012年3月期 第1四半期 2011年4月～6月 (A)	2012年3月期 第4四半期 2012年1月～3月 (B)	2013年3月期 第1四半期 2012年4月～6月 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	361	316	314	△ 47	-12.9	△ 2	-0.6
	インダクティブデバイス	329	284	282	△ 47	-14.2	△ 2	-0.7
	その他受動部品	328	305	318	9	-2.8	13	4.3
	受動部品合計	1,017	905	915	△ 102	-10.1	10	1.1
	記録デバイス	552	582	599	47	8.5	17	2.9
	その他磁気応用製品	244	297	283	39	16.0	△ 14	-4.7
	磁気応用製品合計	796	878	882	86	10.8	4	0.5
	フィルム応用製品合計	180	242	232	52	28.9	△ 10	-4.1
	その他	69	46	58	△ 11	-16.1	12	26.1
	合計	2,062	2,070	2,087	25	1.2	17	0.8
営業利益	受動部品	38	△ 132	△ 29	△ 66	-	103	-
	磁気応用製品	86	140	146	60	69.9	6	4.3
	フィルム応用製品	12	△ 5	21	9	72.1	26	-
	その他	△ 4	△ 26	△ 4	0	-	22	-
	小計	132	△ 23	134	2	1.5	157	-
	全社および消去	△ 72	△ 9	△ 42	30	-	△ 33	-
	合計	60	△ 32	92	32	53.8	124	-
営業利益率		2.9%	-1.5%	4.4%	1.5pt	-	5.9pt	-

為替	対ドルレート	81円74銭	79円27銭	80円27銭
	対ユーロレート	117円62銭	103円94銭	103円18銭

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

2013年3月期連結業績予想



(単位：億円，％)

期 科目	2013年3月期 予想 2012年7月 発表	2013年3月期 予想 2012年4月 発表	2012年3月期 実績	2012年3月期対比 増減	
	金 額	金 額	金 額	金 額	増減率(%)
売上高	9,000	9,000	8,145	855	10.5
営業利益	570	570	187	383	204.8
税引前当期純利益	530	530	122	408	334.4
当社株主に帰属する当期純利益	400	400	△ 25	425	-
固定資産の取得	850	850	997	△ 147	-14.7
減価償却費	820	820	799	21	2.6
研究開発費	530	530	526	4	0.8

●2013年3月期の連結業績予想は、前回公表値（4月27日）から変更なし

●第2四半期以降の平均為替レート想定

対米ドル77円（前回想定から変更なし）、対ユーロ95円（前回想定：103円）

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2013/1q_1.htm